

整理番号	HT26025	分野	生物、農学	(キーワード)川、魚、水生昆虫
------	---------	----	-------	-----------------

宮城教育大学

【川に行き、魚をとらえて魚たちの進化を考えよう 下流編/上流編】

先生(代表者)	棟方 有宗(むなかた・ありむね)教育学部・准教授			 を貼り
自己紹介	東京大学大学院博士課程修了。専門は、サクラマス <small>の</small> 回遊行動のメカニズムの研究。ここ数年は、オレゴン州立大学においてギンザケやキングサーモンの実験も行っている。			
開催日時・主な募集対象	平成 26 年 10 月 18 日 (土) 平成 26 年 10 月 25 日 (土)	(対象)	小学校 5, 6 年生	(人数) 各 10 名
集合場所・時間	両日:宮城教育大学正門		(集合時間)	両日:9:30
開催会場 (集合場所)	宮城教育大学ほか 住所:〒980-0845 宮城県仙台市青葉区荒巻字青葉 149 アクセスマップ: http://www.miyakyo-u.ac.jp/about/campus/ct2.html			
内 容				
<p>本プログラムでは、川の魚の進化を、川の観察とそこで採集する川魚の形態観察や解剖、行動観察によって探求します。活動は2日間に分け、それぞれ下流域、上流域の魚の進化を探求します。これらの授業は、両日の受講あるいは片方みの参加でも十分に理解できる授業内容となっています。18日の授業では、仙台市広瀬川の下流域において、流速や透視度、底質などを観察します。また下流域の為に発達した漁法(モンドリ、置き針、網)により、自らの手で川魚(コイ、アブラハヤ、ウキゴリ、ドジョウなど)を採集して観察し、川の様子とそこに生息する魚の形態、行動の特徴を照らし合わせます。また25日の授業では、広瀬川の上流域において河川の形態を観測し、数種の漁法により上流の魚(イワナ、ヤマメ、カジカ、ニジマスなど)を採集して観察します。以上の観測と観察により、日本の川の流域にあわせて川の魚がどのように進化を遂げたのかを明らかにします。</p> <p>雨天時の対応について:雨天ならびに河川が増水している際には、河川での活動はバスの車窓からの観察にとどめ、最寄りの屋内施設であらかじめ主催者が採集した魚を用いて授業を行います。</p>				
スケジュール			持 ち 物	
【10月18日のスケジュール】 9:30 宮城教育大学正門集合 10:30 地下鉄河原町駅付近到着、受付、科研費の説明	【10月25日のスケジュール】 9:30 宮城教育大学正門集合 10:30 広瀬川上流域到着、受付、科研費の説明	筆記用具、長靴、防寒着、雨カッパ、着替え		
			特記事項	

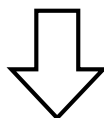
11:00 河川構造、水質の観測	11:00 河川構造、水質の観測	河川の水位や天候、また本人の希望に応じてライフジャケットを貸し出します。
11:30 下流域の魚類の採集	11:30 上流域の魚類の採集	
12:00 昼食	12:00 昼食	
13:00 魚の分類	13:00 魚の分類	
14:00 下流域の魚の形態観察、行動観察	14:00 上流域の魚の形態観察、解剖実験	
14:45 クッキータイム・質疑応答、未来博士号授与式、アンケート	14:45 クッキータイム・質疑応答、未来博士号授与式、アンケート	
15:15 河原町駅出発	15:15 広瀬川上流域出発	
16:00 宮城教育大学正門到着	16:00 宮城教育大学正門到着	

《お問い合わせ・お申し込み先》

所属・氏名：	宮城教育大学 理科教育講座 棟方 有宗(むなかた・ありむね)
住所：	〒980-0845 宮城県仙台市青葉区荒巻字青葉 149
TEL 番号：	022-214-3414
FAX 番号：	022-214-3414
E-mail：	munakata@staff.miyakyo-u.ac.jp
申込締切日：	【10月18日プログラム】平成26年10月3日(金) 【10月25日プログラム】平成26年10月10日(金)

《プログラムのテーマと関係する科研費》

研究代表者	研究期間	研究種目	課題番号	研究課題名
棟方有宗	H16-H18	若手 B	16780132	サクラマスの降河回遊行動におけるストレスホルモンの役割
棟方有宗	H24-H26	基盤 C	24580257	タイハイヨウサケ属サクラマスの降海回遊期の若齢化とその要因の解明



★この科研費について、さらに詳しく知りたい方は、下記をクリック！

<http://kaken.nii.ac.jp/>

※国立情報学研究所の科研費データベースへリンクします。